

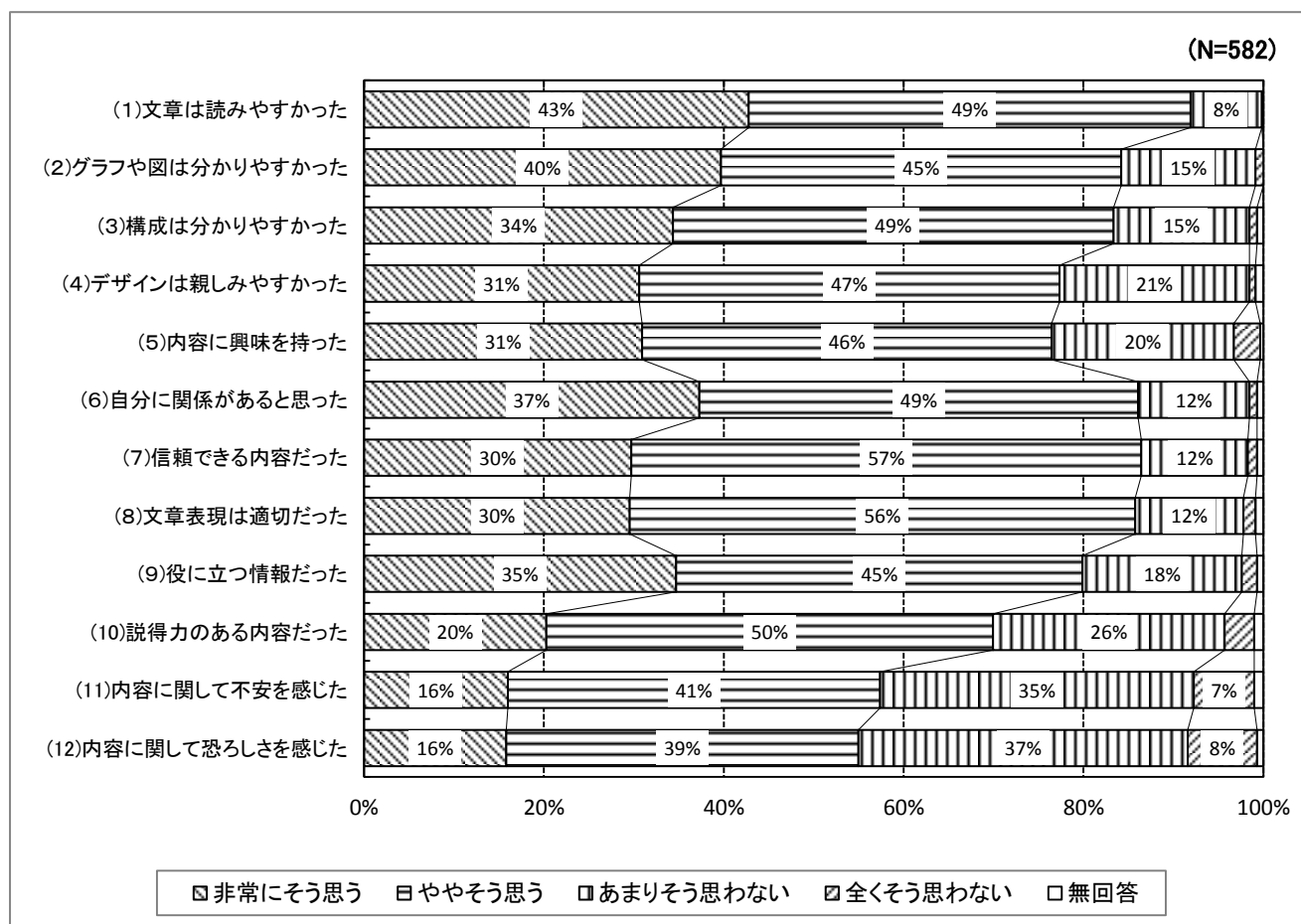
神奈川大学・横須賀市共同市民アンケート調査（第2回） 身近な気候の変化と気象災害に関する市民意識調査 （単純集計結果）

- ・ 発送数：1959 人（宛先不明：41 人） 回収数：582 人（有効回収率：29.7%）
- ・ 回答者性別：男性 42.8%・女性 55.5%・無回答 1.7%
- ・ 回答者年齢：20～30 歳代 20.1%・40～50 歳代 40.0%・60 歳以上 38.5%・無回答 1.4%

<単純集計の結果>

（1）リーフレットに対する評価

問1 同封しましたリーフレットの内容についてどのように思いましたか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

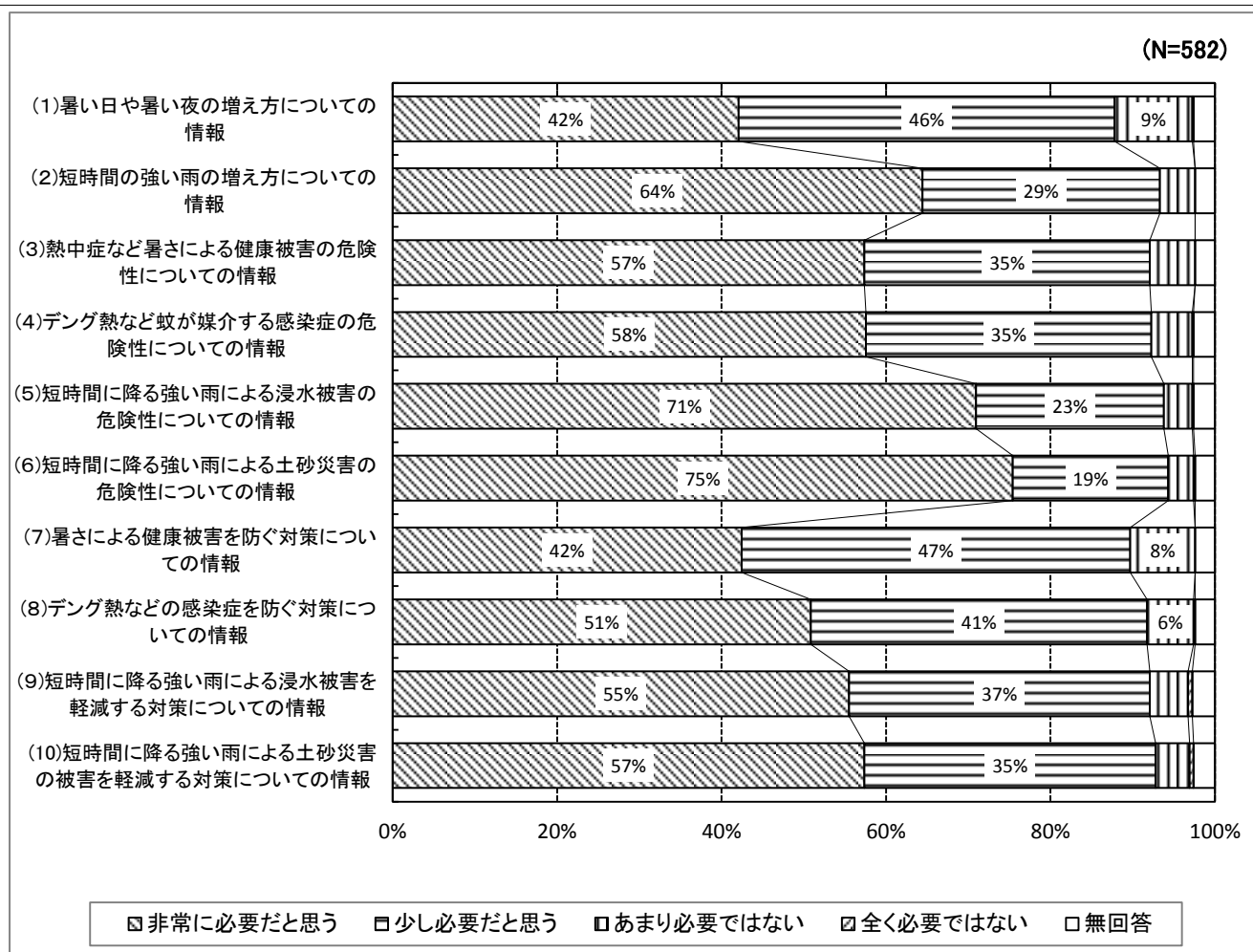


◆リーフレットに対して「文章は読みやすかった」「グラフや図は分かりやすかった」「自分に関係があると思った」など多くの項目で肯定的な意見が8割以上を占めている。ただし、「説得力のある内容だった」については、「そう思わない」や「まったくそう思わない」とする否定的な意見が約3割を占め、人々の認識を変えるまでの説得力のある情報提供には至っていないことが示唆される。

また、内容に関して「不安を感じた」や「恐ろしさを感じた」に対する肯定的な意見は6割未満で、これらの項目では「そう思わない」や「まったくそう思わない」とする意見も多くみられた。

(2) 今後、必要とする情報

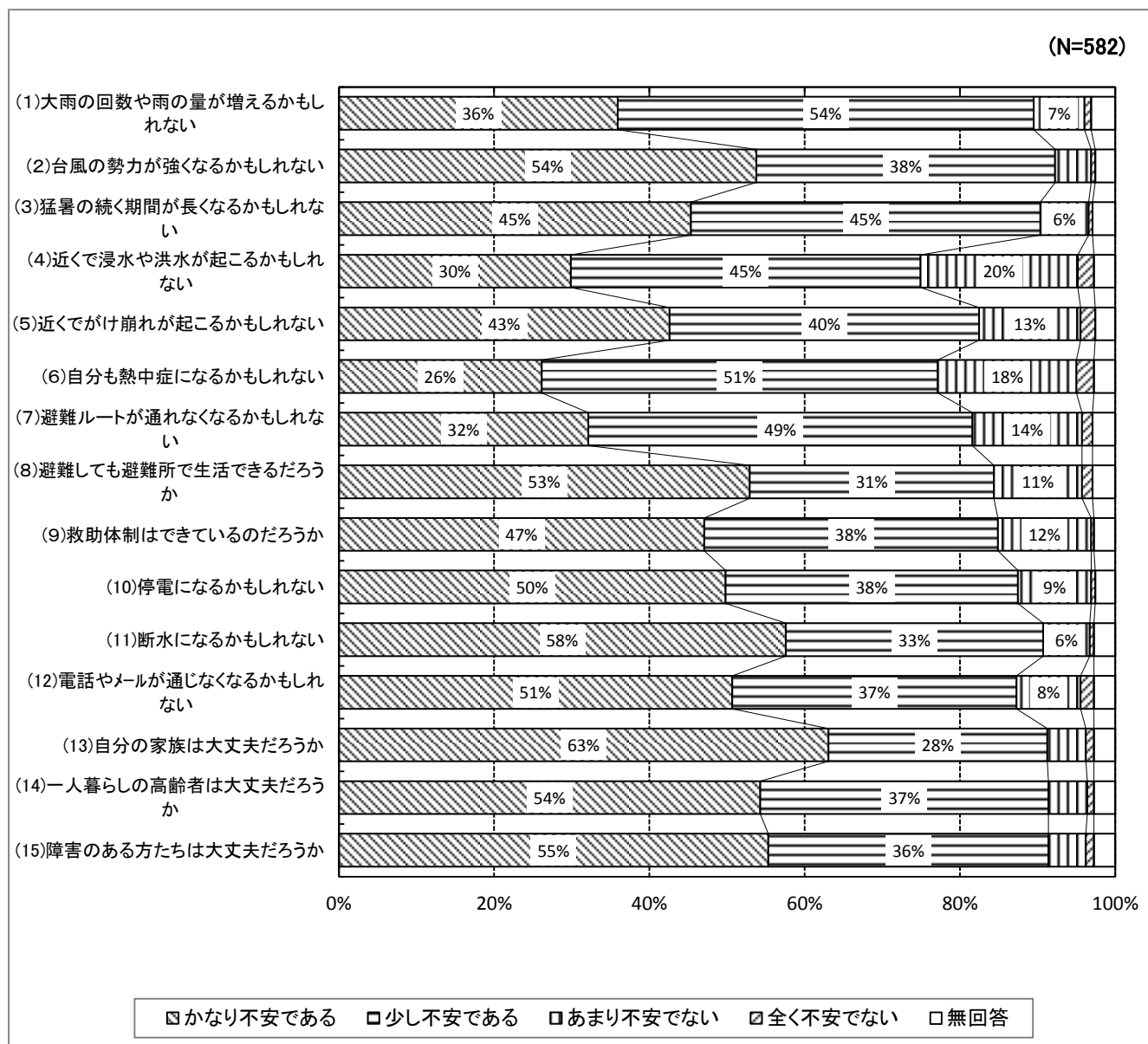
問2 気候の変化やその影響に関して、あなたは今後、どのような情報が必要だと思いますか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。



◆今後、どのような情報を必要としているかを聞いたところ、気候変動に伴う豪雨の増え方あるいはその影響、さらにそれらへの対策のいずれの項目においても「非常に必要だと思う」とする回答が55%～75%程度と最も多くを占め、気候変動に伴う豪雨に関する情報に対するニーズがとりわけ強いことが明らかになった。一方で、気候変動に伴う暑い日や暑い夜の増え方と暑さによる健康被害を防ぐ対策についての情報を「非常に必要だと思う」とする回答はいずれも40%程度で、これら猛暑に関する情報についてはすでに多少なりとも接触する機会があったためと考えられる。

(3) 気候の変化による影響（被害）に対する不安感

問4 あなたは、気候の変化による影響や被害に対して次のような不安がありますか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

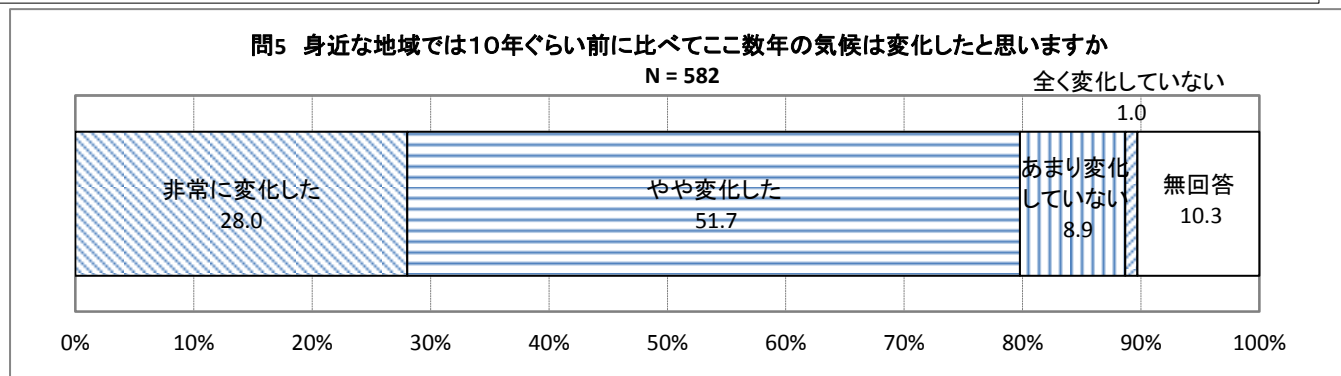


◆気候の変化による影響や被害に対する不安として、1)気象の変化が生じること自体に対する不安、2)自分自身が直接的な被害を受ける不安、3)避難が必要となった場合の不安、4)社会的な基盤が被害を受ける不安、5)家族など自分以外の他者が被害を受ける不安について、それぞれ3問程度を挙げて聞いたところ、多くの項目で「かなり不安である」とする回答が40%～65%程度を占めている。これに「やや不安である」とする回答を合わせると多くの項目で80～90%の回答者がこれらに対する不安感があることが明らかになった。

ただし、「近くで浸水や洪水が起こるかもしれない」や「自分も熱中症になるかもしれない」などといった自分自身が直接的な被害を受ける可能性に対する不安については、「非常に不安である」とする回答が30%程度と相対的に少なくなっている。

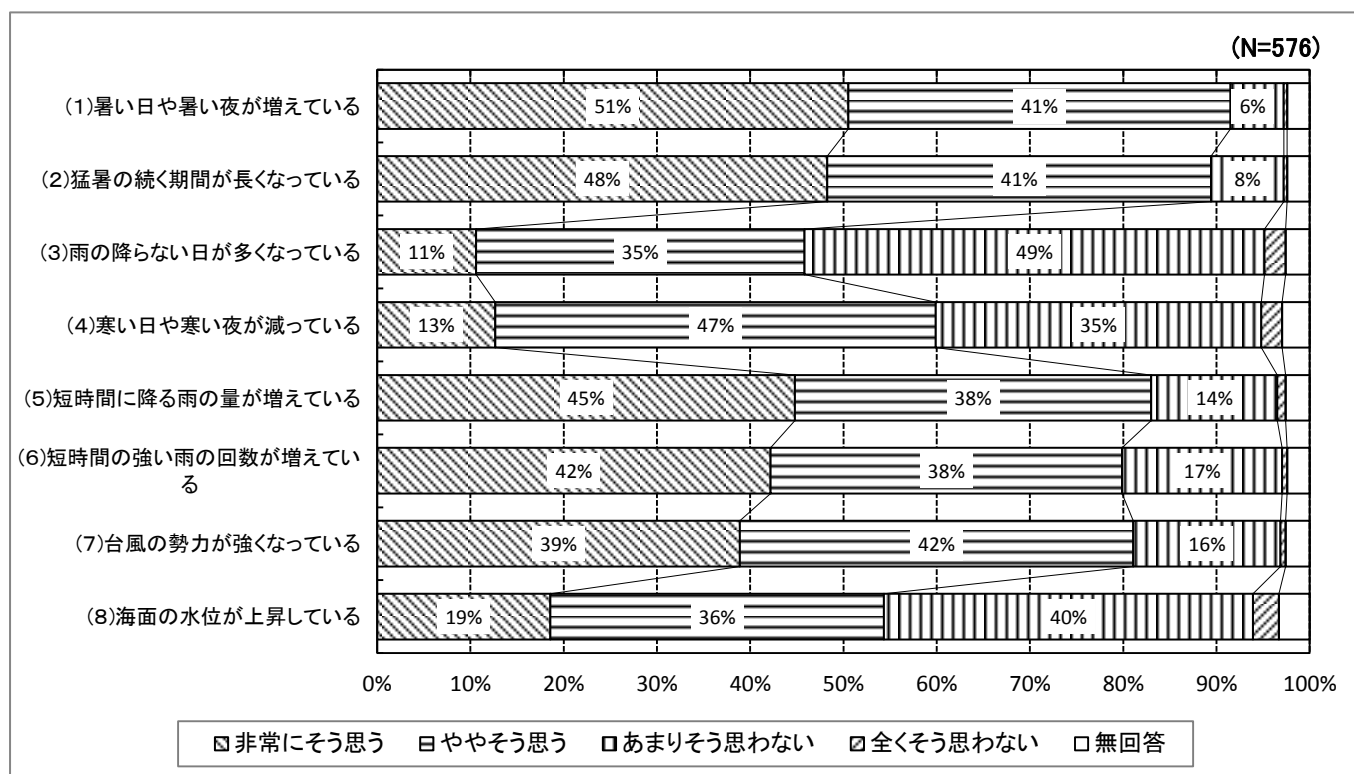
(4) 近年の気候の変化とその影響（被害）に対する実感

問5 あなたの身近な地域では、10年ぐらい前に比べてここ数年間の気候（気温や降水量など）は変化しましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



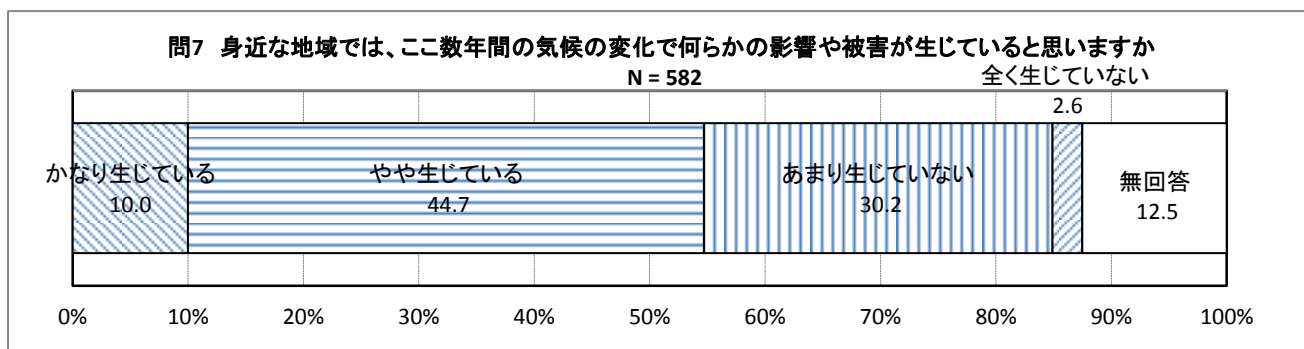
◆近年の気候の変化について、回答者の約3割が「非常に変化した」と回答し、「やや変化した」と合わせると回答者の約8割の人が身近な地域でここ数年間に気候が変化したと感じている。これは、第1回調査における気候が変化したと感じている人の割合（約9割）よりやや減少している。

問6 あなたの身近な地域では、10年ぐらい前に比べてここ数年間で次のような気候の変化が生じていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。



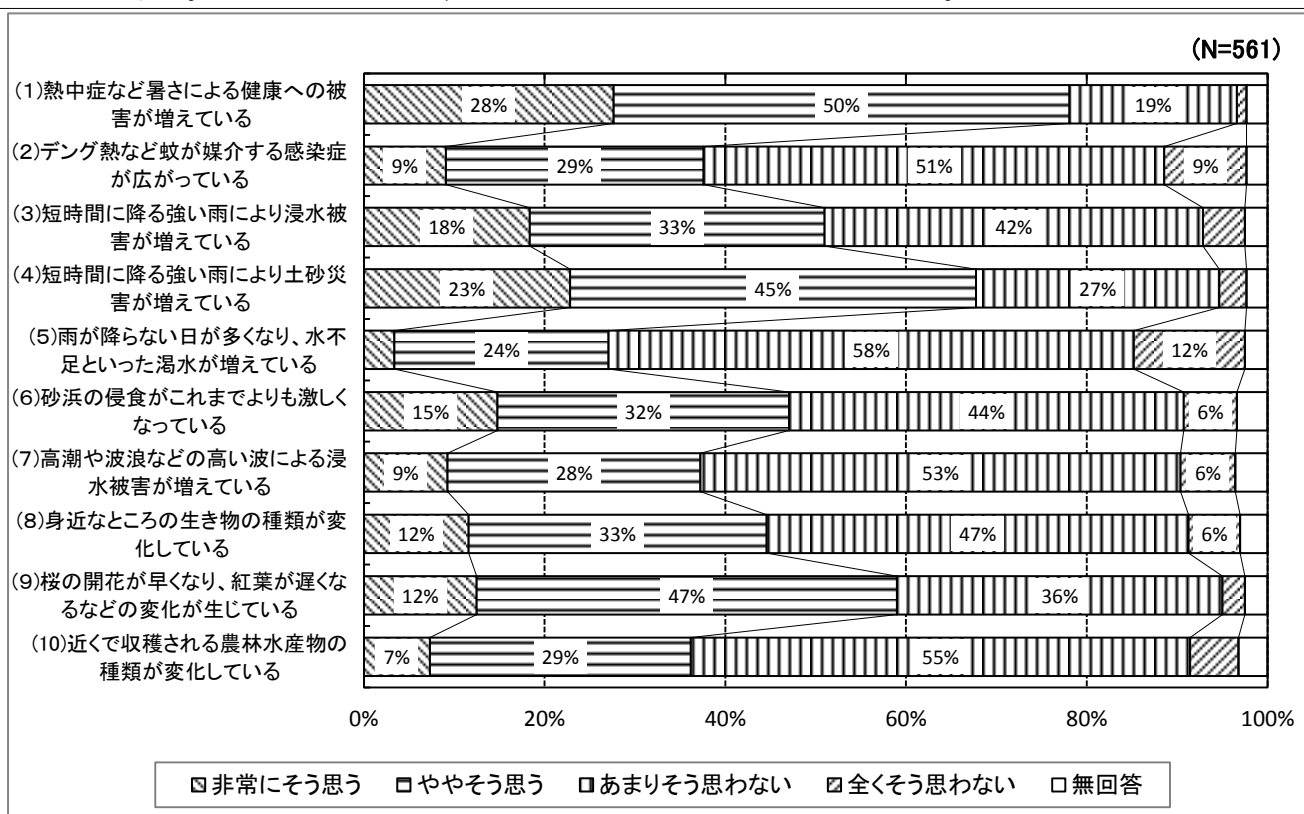
◆気候が変化したと感じている分野として、「暑い日や暑い夜が増えている」「猛暑の続く期間が長くなっている」などの暑さに関する回答が最も多く、次いで「短時間に降る雨の量が増えている」「短時間の強い雨の回数が増えている」などの豪雨に関する回答が多くなっている。また、「台風の勢力が強くなっている」についても豪雨と同じ程度に気候が変化したと感じている回答が多くなっている。

問 7 あなたの身近な地域では、ここ数年間の気候の変化で何らかの影響や被害が生じていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



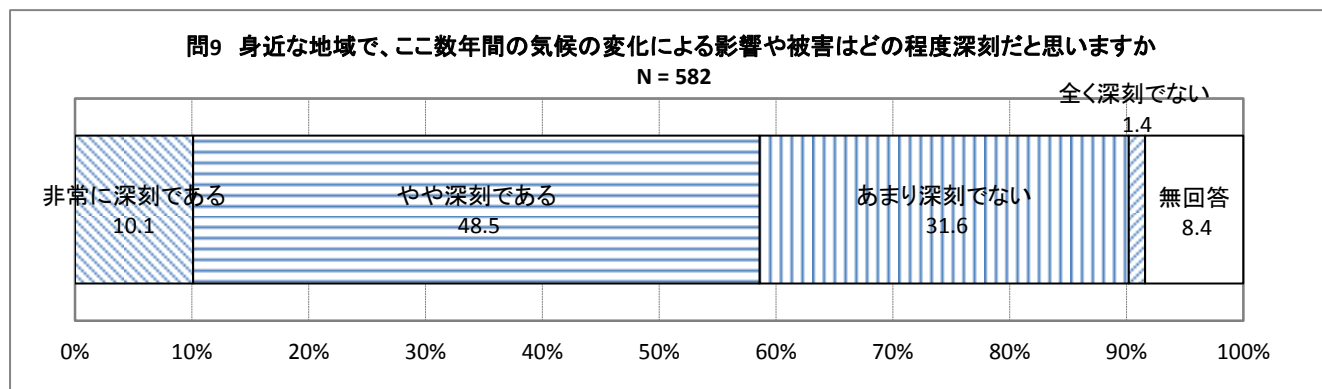
◆身近な地域でここ数年間に気候の変化で何らかの影響や被害が、「かなり」または「やや生じている」と感じている人は回答者の半数を上回るが、「あまり生じていない」あるいは「全く生じていない」と感じている人も回答者の3割を超えており、第1回調査と同様に回答者の間で認識が分かれている。

問 8 あなたの身近な地域では、ここ数年間の気候の変化で次のような影響や被害が生じていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。



◆気候の変化で影響や被害が生じていると感じている分野として、「熱中症など暑さによる健康の被害が増えている」と思うが回答者の8割近くと最も多くなっている。次いで、「短時間に降る強い雨による土砂災害が増えている」と思う回答者も7割近くと多くなっている。これらに次いで「桜の開花が早くなり、紅葉が遅くなるなどの変化が生じている」と思う人が約6割、「短時間に降る強い雨による浸水被害が増えている」と思う人が約5割と多くなっている。

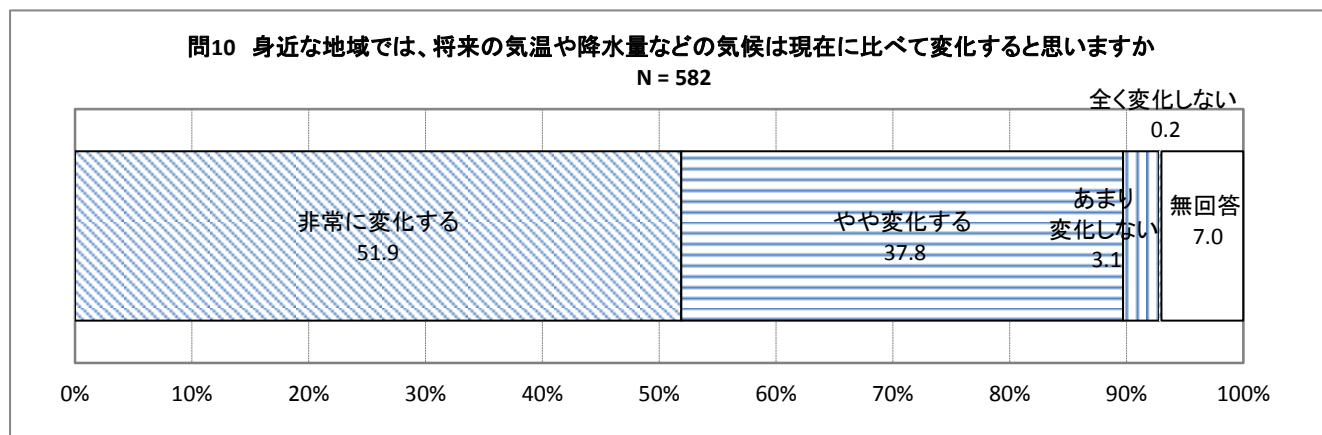
問 9 あなたの身近な地域で、ここ数年間の気候の変化による影響や被害はどの程度深刻だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



◆身近な地域でここ数年間の気候の変化による影響や被害が「非常に深刻である」あるいは「やや深刻である」と感じている人が回答者の6割近くになる一方で、「あまり深刻でない」あるいは「全く深刻でない」と感じている人も回答者の3割以上にのぼり、回答者の間でやや認識が分かれています。

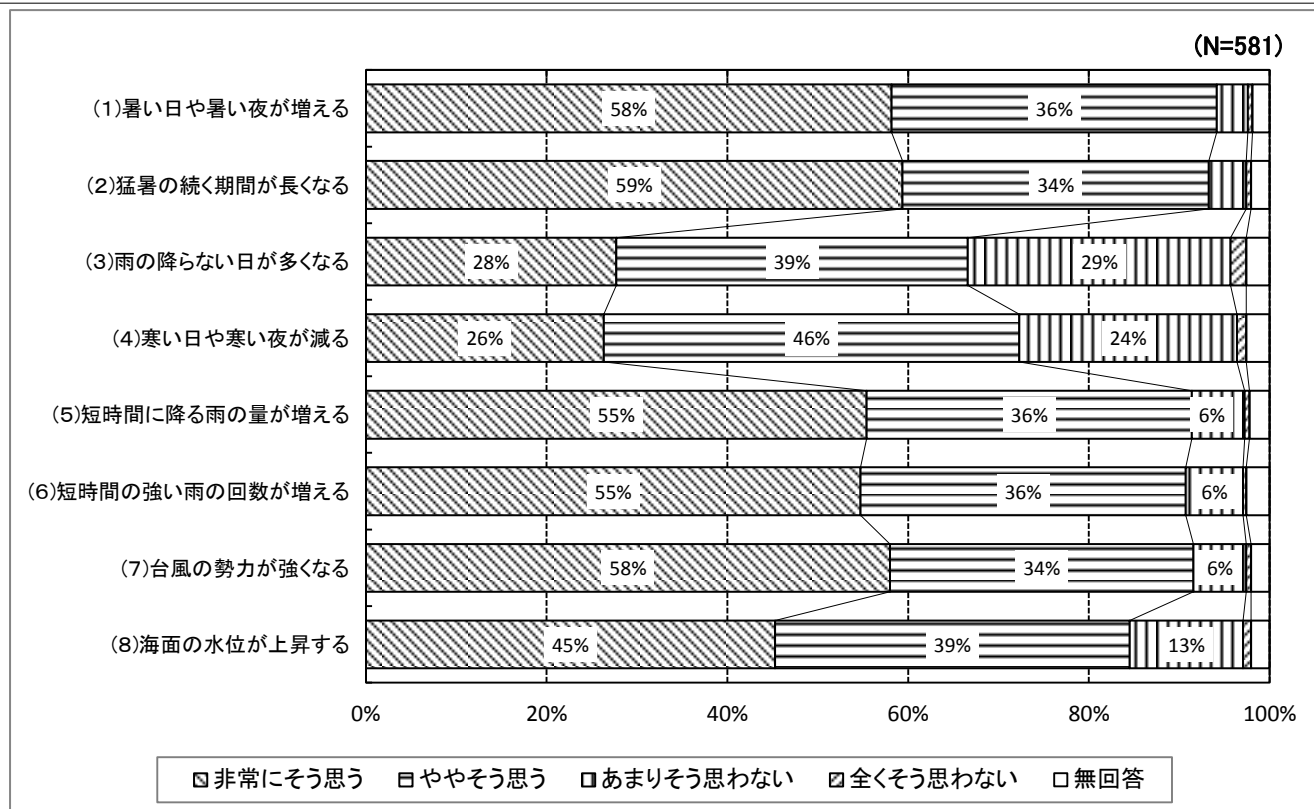
(5) 将来の気候の変化とその影響（被害）に関する認識

問 10 あなたの身近な地域では、将来（およそ 50 年後）の気温や降水量などの気候は現在に比べて変化すると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



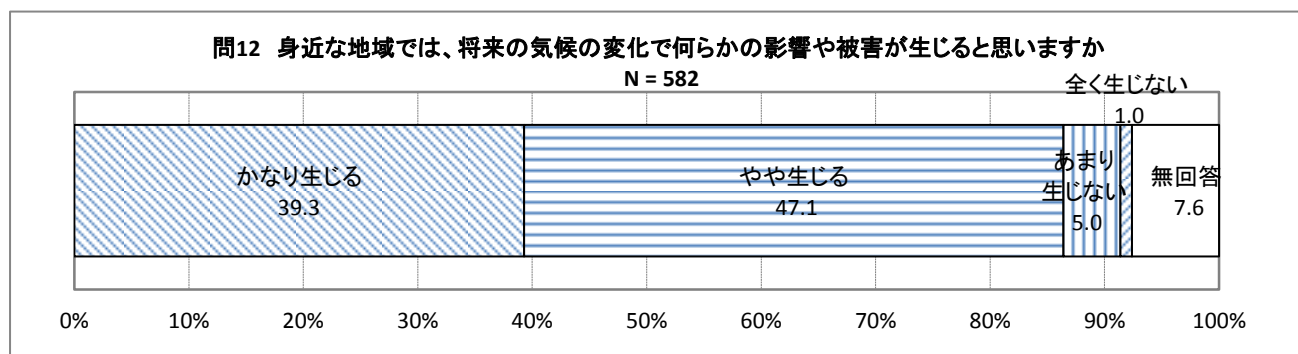
◆身近な地域において将来（およそ 50 年後）の気候が現在に比べて「非常に変化すると」感じている人は回答者の約半数にのぼり、将来の気候が「やや変化する」と感じている人を合わせると回答者の約9割の人が将来の気候が変化すると認識しており、これは第1回調査の結果とほぼ同じである。

問 11 あなたの身近な地域では、将来（およそ 50 年後）に次のような気候の変化が生じるとい
 いますか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。



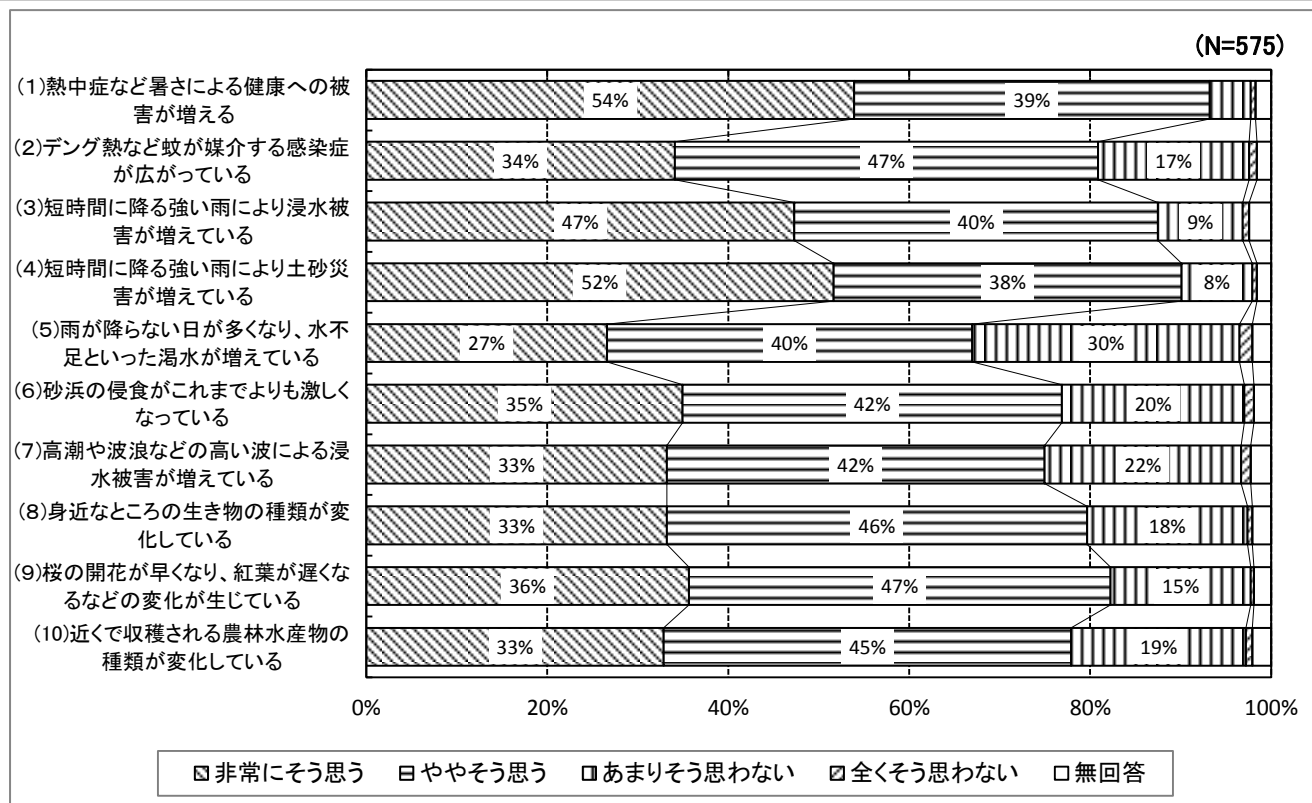
◆身近な地域において将来（およそ 50 年後）に気候が変化すると感じている分野としては、「暑い日や暑い夜が増える」「猛暑の続く期間が長くなる」などの猛暑に関する事
 と、「台風の勢力が強くなる」や「短時間に降る雨の量が増える」「短時間に強い雨の回数が増える」などの台風や豪雨に関する事が多くなっている。これらは第 1 回調査とほぼ同じ傾向である。

問 12 あなたの身近な地域では、将来（およそ 50 年後）の気候の変化で何らかの影響や被害が生じるとい
 いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



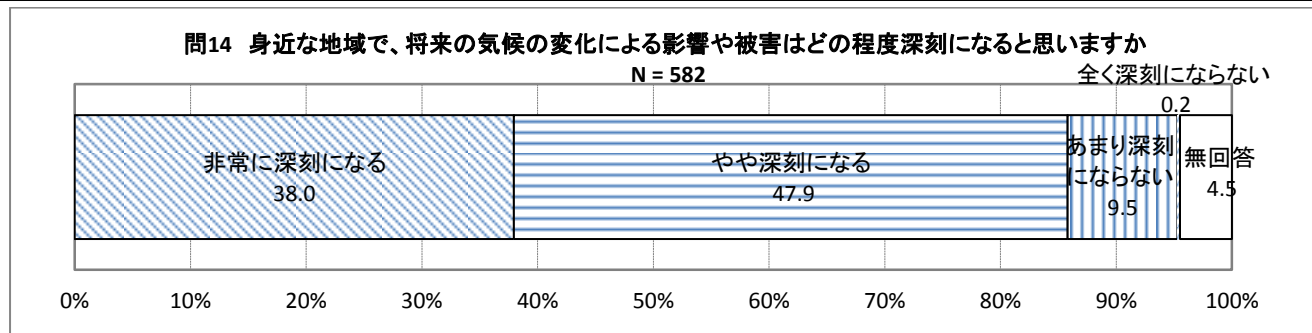
◆将来（およそ 50 年後）の気候の変化が身近な地域に何らかの影響や被害を生じさせると感じている人は、「かなり生じる」と「やや生じる」を合わせると回答者の 9 割近くとなり、多くの人が将来に身近な地域でも何らかの影響や被害が生じると考えている。この結果も第 1 回の調査とほぼ同じである。

問 13 あなたの身近な地域では、将来（およそ 50 年後）の気候の変化で次のような影響や被害が生じると思われますか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。



◆ 将来の気候の変化で身近な地域で何らかの影響や被害が生じると考えられる分野として、「熱中症など暑さによる健康の被害が増える」や「短時間に降る強い雨による土砂災害が増える」については、「非常にそう思う」と回答した人が回答者の半数を超え、「短時間に降る強い雨による浸水被害が増える」でも「非常にそう思う」と回答した人が半数近くに上るなど、猛暑や豪雨に関する将来の影響や被害についての懸念が強い結果となっている。これらも第 1 回の調査とほぼ同様な傾向である。

問 14 あなたの身近な地域で、将来（およそ 50 年後）の気候の変化による影響や被害はどの程度深刻になると思われますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



◆ 将来の気候の変化による影響や被害が身近な地域で「非常に深刻になる」と感じている人は回答者の約 4 割で、「やや深刻になる」と感じている人（約 5 割）と合わせると、第 1 回調査と同様に回答者の 8 割以上が身近な地域で将来の気候の変化による影響や被害は「深刻になる」と感じている。